

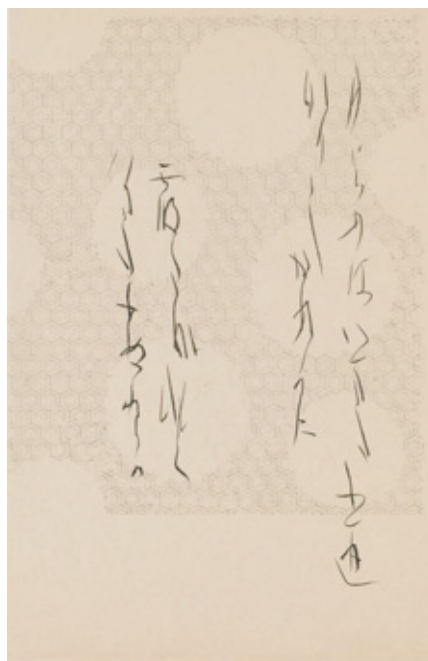
篠田桃紅 美術空間 からの お知らせ

篠田桃紅芸術月間 — 2009 — 花がたみ

篠田桃紅美術空間では、岐阜現代美術館との共同企画として、篠田桃紅の生まれ月である3月を「篠田桃紅芸術月間」とし、展覧会にあわせて作品鑑賞会、コンサートなどの関連イベントを開催します。

今回で3回目を迎える「篠田桃紅芸術月間—2009—花がたみ」では、桃紅が心深くとめた詩や万葉和歌を書いた「書」に注目し、作品に立ちあらわれた桃紅の繊細で優美な日本の美意識を紹介します。

『万葉百首』巻20 / 4492 (大伴家持) 2000503年



桃紅が万葉集より和歌百首を選んで書きしるした『万葉百首』を中心に、書の作品を紹介します。

企画展

「春立ちぬ 万葉百首より」

1月7日(水)～3月27日(金)

入館料 高校生以上 300円 中学生以下 無料
 休館日 月曜および祝日の翌日
 開館時間 午前9時～午後4時30分
 照会先 篠田桃紅美術空間 (市役所7階) ☎23-7756

ひとひと
女と男

ともに自分らしく生きよう vol. 55

男女共同参画社会

さんかくサポーターの豆知識⑨

照会先 さんかくサポーター事務局
(企画政策課内) ☎23-6831

アンペイドワーク unpaid work

この言葉は、無償労働と訳されています。賃金や報酬が支払われない働き方や活動を指します。特に主婦は日々の生活の中で無償の働きをしています。家族のための3度の食事づくり、洗濯、買物、育児、介護、掃除など数えきれない働きをしています。すべて無償です。また、社会福祉やあらゆるボランティアや途上国の人々の水汲み、食料調達などもこれに含まれます。これらの労働は「見えない労働」として不当な評価を受けてきました。

1975年の国際女性年をきっかけに、女性の労働の価値を再評価し、男女の不均衡な役割分担を見直す動きができました。1980年以降、女性のアンペイドワークの貢献度が見えるものにすることが不可欠であるとい

う認識から、国連の機関を中心に、その貢献度の測定と評価のためのデータ収集が進められました。

日本でも1997年から経済企画庁が「無償労働の貨幣評価」を発表しています。それによると、1996年の無償労働の評価額は国内総生産の約23%を占め、その約85%は女性が担っており、男女の役割不均衡を如実に表す結果となっています。

男女が有償労働と無償労働のバランスをよくなり、私たち一人ひとりが意識して男女が共に支え合い平等社会を築いていきたいものです。 <F>

このコーナーではさんかくサポーターが制度や用語をわかりやすく紹介します。